

社会科学学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校

教諭 〇〇 〇〇

1 日 時 平成19年11月〇日

2 学年・組 第6学年〇組

3 単 元 世界に歩み出した日本 ～条約改正と日本の近代化～

4 単元設定の理由

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領の内容キ、明治中・後期から大正期に至るまでの時代の軸を「条約改正」ととらえ、授業を構成したものである。

幕末期に欧米列強の圧力で開国せざるを得なかった日本は、不平等条約の改正を目指して、欧米をモデルとした文明化を進めた。この結果、経済は急速に資本主義化し、社会の近代化が進んだ。日露戦争以後には、政府等によって、日本の国際的地位の向上や世界の一等国となったことなどが語られていった。

こうしたことから、「条約改正」を軸にした単元を構想し、「どのようにして、外国に条約改正を認めさせることができたのだろうか」という学習問題を設定した。この問いによって、幕末から明治・大正期までの歴史的事象と関係づけつつ、「人々の努力」、「戦争」、「国際情勢」という当時の社会的事象を追究させ、日本の近代化の歩みを理解させることができると考えた。

(2) 児童観

児童はこれまで、「長篠合戦図屏風」の『旗印』から戦国時代の特徴をとらえたり、ゴッホが模写した浮世絵「雨中の橋」と歌川広重「大はし阿たけの夕立」とを比較することで、日本文化の優れた点を理解したり、自由民権運動の風刺画を読み取ったりなど、絵画資料の読み取りに意欲的に取り組んできた。

児童は、こうした絵画資料読み取りの際、気付いたこと、わかったこと、思ったことなどを見つけることへの意欲を高めつつあり、その内容は個性的である。その内容を既存の知識や、他の歴史的事実や背景と関係づけて思考・判断することがまだ十分出来ていない。

(3) 指導観

ア 研究仮説

絵画資料の作者（発信者）の意図を読み解く授業を行うことで、児童は、読み解いたことと既存の知識、歴史的事実・背景などとの関係づけて考えることができる。

イ 絵画資料を活用した指導方法の原理

- ① 児童が意見の中に提示される視点を明確化し多様にする。
- ② 資料から得られる情報を整理し、児童の理解を具体と抽象の両方向に拡大するように援助すること。
(社会認識教育学会編『社会科学教育学ハンドブック』明治図書、1994、から引用。)

迫っていききたい。

＜ふりかえる＞パートでは、条約改正を実現させる上で有効だったことベスト5とその理由を、「人々の努力」、「戦争」、「国際情勢」、「その他」という4視点で整理してワークシートに書かせる。その後、各視点のベスト1とその理由を発表させる。さらに、これに対してベスト1にふさわしくないと思う考え（反対意見）を出し合った後、再び各自に条約改正を実現する上で有効だったことベスト3とその理由をワークシートにまとめさせる。

5 単元の目標

(1) 関心・意欲・態度

日清・日露戦争，条約改正や科学の発展などに関心を持ち，意欲的に追求することができる。

(2) 思考・判断

我が国の国力が充実し，国際的地位が向上していった様子を，人物の働きや産業の発展，外国との関係を通して考えることができる。

(3) 技能・表現

年表や写真，絵画資料，文章資料，地図，グラフなどの資料を効果的に活用して，日清・日露戦争，条約改正の様子を調べるとともに，調べたことをノートや年表に工夫してまとめることができる。

(4) 知識・理解

日清・日露戦争，条約改正，科学の発展などを通して，我が国の国力が充実し，国際的地位が向上していったことがわかる。

6 単元の評価規準

(1) 社会的事象への関心・意欲・態度	(2) 社会的な思考・判断	(3) 観察・資料活用の技能・表現	(4) 社会的事象についての知識・理解
①学習問題を意識しながら，意欲的に調べ，追求している。	①我が国の近代化が大陸との関係を背景としていたことを考えることができる。 ②我が国の近代化に努力した人々の業績に果たした役割について多面的に考えることができる。	①関連する図書や人物事典，伝記などを収集して，進んで調べている。 ②資料を歴史的背景や既有知識などと関係づけて読み解くことができる。 ③学習問題との関係を構造化するなど，調べたことをノートにまとめることができる。	①欧米諸国と対等の外交関係を樹立するためになされた努力や，国際的な業績をあげた科学者の努力について理解している。 ②大陸を巡る当時の国際情勢を的確に理解し，その中で国際的地位を向上させていったことを理解している。

7 学習指導計画 世界に歩み出した日本～条約改正と日本の近代化（10時間）～

<条約改正と日本の近代化（10時間）>

	ねらい	主な学習活動と内容	評価活動	教師の支援・資料・留意点
第1時	○国力の差から不平等条約を結ばざるを得なかった状況を振り返り、不平等条約の内容について知る。	○ペリーの肖像画から、当時の日本人のペリー（アメリカ人）に対する意識を予想する。 ○アメリカと日本との国力の違いを、黒船と千石船とを比べながら考える。	○国力の差や当時の国際情勢から、不平等条約を結ばざるを得なかったことを理解している。 (知識・理解)	・ペリーの肖像画 ・当時の世界の植民地
第4時	○関税自主権がないことで、人々が困ったことについて理解する。	○関税自主権がないことで、物価の高騰につながったことがわかる。 ○たこ揚げの風刺画の作者の意図を読み取る。	○物価の高騰と関税自主権との関わりが理解している。 (知識・理解)	・風刺画（たこ揚げ） ・物価上昇の折れ線グラフ ○関税自主権がないことや治外法権があることで、国民が困ったことを具体的に考えさせることで、国民の不平等条約改正への切実感をつかませ、学習問題追及の意欲を高める。
本時	○治外法権を認めることで、人々が困ったことを理解する。	○ウェブスター事件、千島艦衝突事件を知った当時の日本人の心情を予想する。	○2つの事件と治外法権との関わりが理解できている。 (知識・理解)	・読み物資料（ウェブスター事件、千島艦衝突事件）
	○ノルマントン号事件をきっかけにして、条約改正の世論が高まったことを風刺画を通して考える。	○ノルマントン号事件の風刺画でビゴは何を伝えたかったのかを考える。	○資料を歴史的背景や既有知識などと関係づけて読み解くことができている。 (技能・表現) (思考・判断)	・風刺画（ノルマントン号事件）
ふかめる	①なぜ、条約改正ができたのかを人物、戦争、国際情勢の視点から調べ、考える。	○年表を提示して、条約改正に60年かかったことを知らせる。 ○年表から、条約改正と関係する出来事や人物を予想する。	○年表から条約改正に必要なこと・人物を予想することができる。 (技能・表現) ○学習問題を意識しながら、意欲的に調べようとしている。 (関心・意欲)	○「どのようにして、外国に条約改正を認めさせたのだろうか？」という学習問題について、明治維新の頃の国力を向上する政策とともに、人々の努力と2つの戦争、国際情勢という大きな見方を引き出させる。

第5時 第9時	どのようにして、外国に条約改正を認めさせたのだろうか？			
			・条約改正への歩み年表	
	○年表から陸奥宗光の生涯を調べ、日清戦争と条約改正を考える。	日清戦争 朝鮮をめぐる日本と中国の戦い 下関条約：中国は朝鮮から手を引く。遼東半島，台湾を日本に譲る。賠償金を払う。 ※日清戦争の直前に，イギリスとの間で治外法権が廃止された。この戦争の勝利によって日本が世界で認められるようになった。1899年，治外法権は完全に廃止された。このときの賠償金は，国家予算の3倍近くの約3億円であった。このお金で軍隊の強化や産業の近代化などをおこなった。	○風刺画から日本と朝鮮，中国，ロシアとの関係について理解している。 (技能・表現) (知識・理解) ○日清戦争の条約改正に果たした意味を考えている。 (思考・判断) (知識・理解)	○「人物の営み」については，その人物の業績だけを調べるのではなく，生い立ちなども含めて広くとらえさせるようにする。 ○年表からたくさんの情報を観点ごとに整理するために，陸奥宗光にとって「よくない出来事」「不運な出来事」，「行った土地」，「条約改正に関する仕事」について，年表に線を引かせる。 ・陸奥宗光の年表 ・風刺画
	○日露戦争と東郷平八郎について調べ，当時の世界情勢と日本の軍勢力について知る。	○当時の世界情勢から，日本がロシアと戦うとしたら，どこの国の協力が必要かを考える。	○当時，世界最強国イギリスと同盟を結ぶことで，日本の国際的地位を高めたことがわかっている。 (知識・理解)	・当時のイギリスとロシアの勢力地図 ・風刺画
	○渋沢栄一と野口英世について調べ，民間の立場から産業の近代化に貢献したこと，その活躍が国際社会から認められたことを知る。	○産業や科学・文化の発展は，外国とどのように関わっているかを考える。	○産業や科学・文化の発展が，外国との関係と深く結びついていることがわかっている。 (知識・理解)	
○年表から小村寿太郎の生涯を調べ，日露戦争	日露戦争 満州と朝鮮をめぐる日本とロシアの戦い。ポーツマス条約：	○日露戦争の条約改正に果たした意味について	○年表からたくさんの情報を観点ごとに整理するために，「小村寿太	

	と条約改正を考 える。	朝鮮での日本の利益と政治の指導 を認める。樺太の南半分、遼東半 島の一部、南満州鉄道の権利を日 本に譲る。賠償金はなし。 ※大国ロシアに勝つことで、国際 的地位が高まった。勝ったとはい え、この戦争で約15億円ものお 金を使い、約12万人もの死者を 出し大きな痛手となった。この戦 争の6年後に、関税自主権の確立 に成功した。	考えている。 (思考・判断) (知識・理解)	郎が勉強したことが分 かるところ」「役職」、 「日本の担当者として 外国と結んだ取り決め」 について、年表に線を 引かせる。 ・小村寿太郎の年表
第 10 時	ふり か え る ○条約改正を実 現させる上で有 効だったことを ワークシートに まとめる。	○条約改正を実現させる 上で有効だったことベスト5とその理由をワーク シートに書く。 ○それぞれのベスト1と その理由を発表する。そ の際、人々の努力、戦争、 国際情勢、その他という 4観点で整理する。ベス ト1にふさわしくないと 思う考えについて、反対 意見を出す。 ○話し合い後、条約改正 を実現させる上で有効だ ったことベスト3とその 理由をワークシートに再 び書く。	○条約改正を実 現させる上で有 効だったことに ついて、これま での学習を振り 返って考え、理 解することがで きている。 (思考・判断) (知識・理解) (関心・意欲)	・ワークシート ○「その他」に分類さ れる考えを大切にし、 クラスみんなで考えあ うようにする。

8 本時 ノルマントン号事件と条約改正

(1) 本時の目標

ア ノルマントン号事件についての絵（ビゴアの風刺画）に描かれている意味を、既習の歴史的事実や背景と関連付けながら意欲的に読み解くことができる。（関心・意欲・態度，資料活用の技能・表現）

イ 不平等条約の問題点について考え，当時の日本の条約改正への願いを理解することができる。（思考・判断，知識・理解）

(2) 本時の学習展開

活動・内容	発問，指示，説明，留意点	児童の思考	支援■・評価□
1. 絵を見て気付いたこと，分かったこと，思ったことを発表する。	（説明）船が沈没しかけていて，救命ボートに向かって人々が泳いでいること，その人々は日本人であること，救命ボートに4人の外国人が乗っていること，その外国人は，イギリス人であること，救命ボートで立っている人は船長であること，ボートに乗っているイギリス人とおぼれている日本人は同じ船に乗っていたことを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・人が溺れている。 ・遠くに船が倒れかかっている。 ・ボートに3人の外国人が乗っている。 ・船長らしき人が指さしている。 ・溺れている人が船に続いているので，遭難した船から泳いでいるのだろう。 ・海にいる人の視線が船長に注がれている。何かを聞いているようだ。船長は，指さしながら何を言っているのか？ 	■絵に描かれていること（見えること）から，絵に描かれていないこと（見えないこと）を読み取るように支援する。
2. 絵の設定についてつかむ。	（発問）この絵は何をしている場面でしょうか。 （説明）イギリスの貨物船ノルマントン号が，和歌山県沖で沈没した。 描かれているのは，乗客が海に投げ出されているところを救命ボートから救助する船長ドレイクとイギリス人乗組員である。	<ul style="list-style-type: none"> ・人がたくさんおぼれている場面。 ・おぼれている人をボートに乗った外国人の人が助けようとしている場面。 	■映画『海猿』の救出シーンを見せて，児童が嵐をイメージしやすいようにする。
3. 絵の中におかしいと思うところを見つける。	（発問）この絵でおかしいと思うところを見つけよう。 （発問）ボートの3人の外国人は，おぼれている人を助けようとしていますか，助けようとしていませんか。 （説明・留意点）救命ボ一	<ul style="list-style-type: none"> ・沈没しているのに，助けようとしていない船長。 ・和歌山県沖は，太平洋で荒波である。この日は風雨であったにもかかわらず，救命ボート上で船長 	

	トが発見されたときの天候は、北東の風雨が吹き荒れていたことを説明して、おかしいところに気付かせる。	が立っている。 ・イギリス人乗組員は、のんびりパイプをくわえている。 ・すぐにでも救助しないといけないにもかかわらず、船長は指さして、何かを話している。 ・おぼれている日本人が顔を出しているのがある得ない。	
4. ドレイク船長の言い分とノルマントン号事件の裁判結果を知る。	<p>(説明) ドレイク船長の言い分とノルマントン号事件の裁判結果について説明する。(イギリス領事館における海事審判で、船長無罪の判決が下された。船長はボートに移るよう言ったが、神戸の日本人には英語が理解できなかったため溺れたというドレイクの陳述が認められたためであったことなど。)</p> <p>(発問) 裁判結果を聞いた日本の国民はどう思ったと思いますか。</p>	<p>・イギリス人は全員助かっているのに、日本人26名全員死亡はおかしい。</p> <p>・船長として無責任だ。</p> <p>・船長の責任、日本人だけ全員死亡したということから考えて、罪が軽すぎる。</p>	
5. 絵の中でドレイク船長がおぼれている日本人に向かって話していることを想像して、吹き出しに書く。	<p>(発問) ドレイク船長は、指さしながら、おぼれている日本人に何か話しています。何を話しているか想像して、吹き出しに書きましょう。</p> <p>(発問) ドレイク船長が左手に握っているものは何でしょうか。</p> <p>(留意点) 絵の下部に英語で書いてあることを気付かせる。</p> <p>(説明) 「お金を出したら、助けてやる。時は金なり。」と書いてあります。実際には、このようなことをドレイク船長は言っていません。</p> <p>(発問) なぜ、ビゴは、このような絵を描いたので</p>	<p>・方位磁針</p> <p>・財布</p> <p>・イギリス人船長や乗組員のひどさを強調するため。</p>	<p>■この絵は、ノルマントン号事件の裁判後に描かれたことを再確認して、思考しやすくする。</p>

<p>6. ノルマントン号事件の1年後に描かれたこの絵(風刺画)で、ビゴ―は何を伝えたかったのだろうかを考え、書く。</p>	<p>しょうか。 (発問) ビゴ―はどんな思いでこの風刺画を描いたのでしょうか。これまでに学習したことをもとに自分の考えをまとめて書き、発表しましょう。</p>	<p>○ドレイク船長が日本人を助けなかったのはおかしい。裁判で軽い刑になったのはおかしい。 ・なぜ、軽い刑になってしまったのか? ・それは、これまでも学習した治外法権という不平等条約があったからである。 ・ビゴ―は、ドレイク船長の不正を強調することで、当時の日本に対する不平等条約を批判していると考えられる。</p>	<p>□ビゴ―は、風刺画を通して、ドレイク船長の不正を強調することによって、イギリスの対応の不正や不平等条約の問題を伝えようとしているか。 (資料活用の技能・表現) (思考・判断) □ノルマントン号事件と不平等条約(治外法権)との関わりを理解しているか。 (知識・理解)</p>
<p>7. ノルマントン号事件をきっかけに、不平等条約改正への世論が高まっていったことを知る。</p>	<p>(説明) ノルマントン号事件をきっかけに、不平等条約改正を求める世論が高まっていったことを説明する。</p>		

教科書：佐々木毅 他著『新編 新しい社会 6上』東京書籍

参考文献：吉川幸男「社会科学習活動組織化の基礎的研究」『山口大学教育学部附属教育実践研究指導センター研究紀要1号』教育実践研究指導センター，1989年
 黒田日出男『中世荘園絵図の解釈学』東京大学出版会，2000年
 池野範男「歴史理解における視点の機能」『社会科研究第40号』全国社会科教育学会，1992年
 江間史明「絵画資料分析と歴史教育」『東京大学教育学部教育内容研究室6集』東京大学，1988年
 加藤公明「肖像画の中の義満 絵画資料と歴史教育」『歴史地理教育 440号』1989年
 全国社会科教育学会編『社会科教育学研究ハンドブック』明治図書，2001年
 安達正博「『軸』構成による歴史学習づくり」『社会科教育論業 第44集』全国社会科教育学会，2005年
 日本史視覚教材研究会編「歴史写真・絵画を読む 写真解説 日本の歴史」清水書院，1991年
 村上忠君「国際的資質を育てる小学校社会科歴史学習 『ノルマントン号事件』と『エルトゥール号の遭難』を事例にして」『社会科教育論業 第44集』全国社会科教育学会，2005年

外国に条約改正を認めさせるのに有効だったことベスト5

名前 ()

例文：第1位は，〇〇〇〇である。理由は，・・・

第1位は，

第2位は，

第3位は，

第4位は，

第5位は，

外国に条約改正を認めさせるのに有効だったことベスト3

第1位は，

第2位は，

第3位は，
